

令和4年度風間浦村地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は漁業と林業が基幹産業であり、農家の経営規模が小さく、自給農家がほとんどである。

また、他市町村と比べ農地1筆あたりの面積が小さいことや平坦な農地が少なく、農業者の高齢化・担い手不足が進んでいることから、農地の大規模化や機械化が困難であり、不作付地が増加している。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当地域は専業農家もおらず自給的農家がほとんどである。そのような中で、かぼちゃについては、農協が中心となって下北地域で一株一果どりの「一球入魂かぼちゃ」としてブランド化を図っており、当地域でも1戸の農家が生産出荷しているため、農協や普及指導員と連携して栽培技術の向上を図るとともに、農業委員会とも連携しながら、自給的耕作者に対して働きかけて新たな作付希望者を掘り起こし、当地域の水田農業の発展を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当地域の水稲作付面積は約3haと非常に少ないため、作付拡大しても需要に応じた米生産は可能であるが、農業者の高齢化や担い手不足で作付拡大は難しいことから、現在の水稲作付面積を維持していくこととする。

また、現在水稲作付けされていない水田についても村内における水稲自給力確保の観点から水田機能を維持することを基本とする。

令和3年度においては、水田機能を維持する方向性であるが、今後も水田の利用状況を点検し、将来にわたって水稲作付けが見込まれないと判断される場合には、畑地化することも検討する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

地産・地消を中心として需要に応じた米の生産を行う。

(2) 備蓄米

「取組なし」

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

「取組なし」

イ 米粉用米

「取組なし」

ウ 新市場開拓用米

「取組なし」

エ WCS 用稲
「取組なし」

オ 加工用米
「取組なし」

(4) 麦、大豆、飼料作物
「取組なし」

(5) そば、なたね
「取組なし」

(6) 地力増進作物
「取組なし」

(7) 高収益作物
「かぼちゃ」については、農協が中心となって下北地域で「一球入魂かぼちゃ」ブランドとして産地化を図っていることから、地域設定の産地交付金を活用し、これに取り組み農家所得の向上を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	2.6		2.5		2.4	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦						
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	0.14		0.15		0.16	
かぼちゃ	0.14		0.15		0.16	
その他						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	かぼちゃ	地域振興作物助成	作付面積	（令和3年度）0.14ha	（令和5年度）0.16

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:青森県

協議会名:風間浦村地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域振興作物助成	1	6,600	かぼちゃ	実需者へ出荷、販売を行う